

外科・消化器外科・肛門外科

「痔」でお悩みでは？

日帰り手術でスッキリ。嘘みたいに解放♪

日本人の3人に1人は「痔」に悩んでいると言われる。診察される恥ずかしさや治療に対する不安から人知れず悩み、受診を先延ばしにし、悪化させている人も多いという。肛門外科を設け、的確な診断と治療で患者の苦痛を軽減している西の京病院の岡内博外科部長と・高城武嗣副部長の両先生に、病気の正しい知識と、状態によっては可能な日帰り手術について話を伺った。



副部長 高城 武嗣 医師
TAKAGI TAKESHI

趣味はゴルフ！ そのための体づくりも。正月から禁酒中4kg減量。春の健診が楽しみ♪

先生の健康法

部長 岡内 博 医師
OKAUCHI HIROSHI

食生活に気を付け、山登りも再開したいなど、思っています。

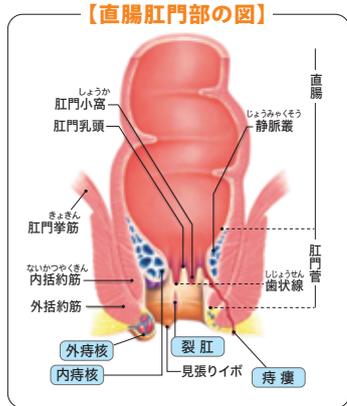
先生の健康法

痔は大きく3タイプ

内痔核なら日帰り手術が可能

痔の種類は大きく分けて「痔核」「裂肛」「痔瘻」の3タイプがある。

治療法は、規則正しい排便習慣や食生活の改善などの生活療法が基本。症状が軽い場合は、外用薬（座薬・軟膏）や内服薬を用いる薬物療法を行うが、病状が進んでいる場合は手術療法になる。



※西の京病院肛門外科のHPから

内痔核の日帰り手術

ALTA療法

痔核（いぼ痔）は、おしりの血行が悪くなり、血管の一部がこぶ状になったもの。初期は出血が起きる。歯状線より上（内側）にできたものを「内痔核」、下（外側）にできたものを「外痔核」と呼ぶ。

痔核が脱出し、それが戻りにくくなったら手術が必要で、手術には硬化療法や結紮切除術（数日の入院）等があり、「内痔核なら注射するだけの日帰りALTA療法（硬化療法）も可能だ。」

男女共に半数以上！



ALTA療法

内痔核に流れ込む血液の量を減らし、痔核を硬くして粘膜に癒着・固定させる治療法。切り取る手術と違い、局所麻酔で痔核への注射なので、手術時間は20〜30分。事前処置や投与後の安静時間（麻酔が覚めるまで）を含めても3時間程度なので、仕事などへの差し支えも少ない。

土曜に治療↓日曜は自宅静養↓月曜から学校・仕事♪



外痔核・裂肛・痔瘻とその治療

外痔核…血栓（血の塊）ができ、腫れて痛む。薬で治るが大きく痛みの強いものは、血栓を取り除くか手術する。

裂肛（切れ痔）…硬い便の通過で肛門の皮膚が切れたり裂けたりしたもの。排便時に痛みがあり、少量の出血がある。進行すると排便後にも痛みが続く。痔瘻になったり肛門が狭くなったりすることもある。手術には括約筋切断術や肛門皮膚移動術がある。

女性に多い！

痔瘻（あな痔）

細菌が入り、肛門周囲が化膿したもの（肛門周囲膿瘍）。溜まった膿が外に流れ出るトンネルができてしまった状態で、発熱や痛みを伴う。痔瘻は薬では治らず、化膿を繰り返すうちにがん化するものも。手術には瘻管開放術、瘻管切断術、痔瘻結紮療法等がある。

男性に多い！

予防と再発防止

規則正しい排便習慣

食物繊維や水分をしっかりと摂り、便意を我慢せず、いきみは3分以内。香料やアルコールを控える。

おしりを清潔に

温水洗浄式便座を使う。水圧弱め・ぬるま湯で洗浄後はよく乾かす。

洗い過ぎはNG！

おしりをいたわろう

体を冷やさず、お風呂で温まり血行をよくする。過労やストレスを避け、長時間同じ姿勢をとらない。

座りっぱなし、立ちっぱなしは肛門がうっ血しやすいのでこまめにストレッチなどして血行を改善！



実は僕も若い頃、手術しています！



先生から

一言で「痔」といってもどのタイプかは診ないとわからず、治療法も異なります。市販薬でも期待はできますが肛門や直腸、結腸のがんのほか、クローン病や潰瘍性大腸炎など、見逃してはいけない病気の可能性も！早期ほど治療が楽だし、悩みも短期間で済みます。「世界が変わった♪」という声も聞きますよ。

